



和田喜治 議員
平成会

成東中学校統廃合問題について

問 成東中学校の統廃合問題については、これまで、前市長に対して3年間近く、厳しく追及してきましたが、教育委員・議員の応援は一人もなく、成東中学校は廃校に進んでいました。今回、松下市長が、立候補に際して、成東中学校の統廃合問題について触れたことにより、議員の間で、前市長の進めていた成東中学校の統廃合問題に疑問を抱く方が出てきたようです。この件を進めてきた教育長・教育委員の責任問題をこのままにしておくわけにはいきません。前回、自ら判断することでしたが、その後、進展はありましたか。

答 市長 教育長・教育委員は、議会の同意に基づき任命され、任期も定められていますので、その任に当たっていただいています。

問

市の中心地で、一番人口が多く、生徒数も一番多い中学校を廃校にすれば、人口減につながることもぐらいは分かるはずですが、成東小学校学区内人口は、合併後13年目になりますが、約200人しか減少していません。現在は、増加傾向にあります。この状況を、前市長は成東地区に住みながら気付かず、成東中学校を無くそうとしていました。私は42年間の子ども達との関わり(少年野球・囲碁・将棋)から、中学校の大事さを伝えてきました。市長は選挙期間中に地域の声を聞いて、把握したと思います。市長は、成東中学校の廃校はないと考えたと思います。その点はいかがですか。

答

市長 地域の皆さんには、理解が得られていないと感じました。そのため、一度立ち止まって判断することが必要であると思いました。

問

市長は就任して5ヶ月になりますので、成東中学校廃校問題は、関係者を集め協議に入っていると思いますが、進捗状況について伺います。

答

市長 8月28日の総合教育会議の場で、成東中学校、成東東中学校の統廃合という方向性では、教育委員会と共通の認識を持ったところで、統合後の学校の位置や時期については、協議を継続していくことになりました。結論としては、平成31年度を目途に、

方向性を示したいと思っています。



統廃合が検討されている成東中学校

少子化対策について

問

白幡スポーツ広場の活用を、これまで何回も質問してきました。現在の白幡市営住宅は借地であり、建築後50年になるうとしていますので、土地の返還、建て直しも考えなければなりません。そこで、前市長に白幡スポーツ広場を、市営住宅に活用することを提言し、また、若い世帯を対象とした市営住宅にすることを提案しました。前市長は、その事は考えていなかったと、前向きな答弁をいただきましたが、市長の考えを伺います。

答

市長 白幡スポーツ広場ですが、先般、副市長と共に現場を視察しました。白幡市営住宅の建て替えの候補地の一つとして、引き続き、検討していきたいと考えます。

日向の森について

問

出光興産(株)が所有していた土地、日向の森は購入後13年になります。この日向の森の活用は、国の機関を利用することが一番です。旧成東町の高町長は、旧成東町に国の機関を誘致しようとし、その構想を発表しましたが、反発を受け、実現しませんでした。市長は、何か構想を持っていますが。

答

市長 今のところ、日向の森については特段の構想は持っていない。今後も、視野を広げながら、考えていきたいと思っています。

築山整備について

問

築山が整備される予定の近辺には、住宅は数軒しかありません。遠方から車で避難する方は、国道に向け避難した方が良からうと思います。市長は、車両での移動が困難な方や、避難に時間を要する高齢者の命を救うためとの答弁でしたが、大事なことは、いざという時に、どのような体制が取れるかということです。築山整備は難しいようでしたら、考え直したらどうですか。

答

市長 助け合う体制の構築と合わせて、築山整備も、ともに進めたいと考えています。